

SUPER ZUGA-KOUSAKU



作って壊して超回復!

ハプンが湖西にやってきた!

あどがわ ハプン 2025 超図画工作

アーティストたちとあそぶ!

2025年9月14日(日)~15日(月・祝) あさ10時から夕方5時まで(最終入場4時)

場所: 藤樹の里 文化芸術会館

520-1224 滋賀県高島市安曇川町上小川106 tel 0740-32-2461

1Dayチケット おひとり500円

1Dayチケット購入で全てのプログラムが体験できます。

- ・大人も子どもも500円
- ・4歳以下無料
- ・8歳以下保護者同伴

イベント内容: 現役アーティストやデザイナーと一緒に、表現することを楽しめる、超図画工作体験のイベントです。大人も子どもも楽しめます。ぜひ親子で参加してください! 作品展示やパフォーマンスライブもあります。すべて1Dayチケットで楽しめます。(雨天開催)

主催 モファ 助成 独立行政法人国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金

後援 滋賀県 滋賀県教育委員会

お問い合わせ先 (モファ事務局: 代表 犬飼) Eメール info@m-fat.org

電話 090-6496-7746 ホームページ <http://m-fat.org/>

募集対象: 0歳から18歳とその保護者 人数: 1日100名程度

※ワークショップによって制限のあるものもあります。プログラムでご確認ください。

※ワークショップの申し込みは当日会場にて順番に受け付けます。

※イベント内容は予告なく変更になる場合があります。ご了承ください。

National Institution for Youth Education
独立行政法人 国立青少年教育振興機構
「子どもゆめ基金助成活動」

体験の風を
おこそう

※イベントでは広報や子どもゆめ基金への報告のために写真撮影を行います。撮影した写真や映像は、広報用にHPやSNSに使用することがあります。なお、子どもゆめ基金へ報告用に提出した個人情報(写真)は「(独)国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」に基づき、子どもゆめ基金助成業務以外の目的には使用されません。

写真: 辻村耕司 / チラシデザイン: 三原美奈子



交通アクセス●公共交通機関でお越しの場合

JR 湖西線 安曇川駅より徒歩15分

●お車の場合 道の駅 藤樹の里あどがわ 隣

イベント内容やスケジュールの詳細は、m-fat 公式ブログ、または公式 Instagram でご確認ください。

ブログ <http://openart.exblog.jp/>

▼ BLOG



▼ Instagram



M_FAT_OFFICIAL

ADOGAWA HAPUN 2025

SUPER ZUGA-KOUSAKU



2025.9.14/15

あさ10時から夕方5時まで(最終入場4時)



WS 切り紙バッジ 岡本里栄 Rie Okamoto



WS 石を建てる 辻村耕司 Koji Tsujimura



WS 心のお天気 犬飼美也妃 Miyaki Inukai

あどがわ ハプン

2025

超 図画互作

ワークショップ

何度でもできる！制限なしの
8つのワークショップ！



WS 順子の部屋
平山剛志 Tsuyoshi Hirayama



WS ベタベタアート
草笛由美子 Yumiko Kusabue

作って壊して超回復！
アーティストたちとあそぶ
「超」図画工作体験！



WS パッケージイグルー 三原美奈子 Minako Mihara



WS 樂がき 移動アトリエmico atelier mico



WS ぬいぐるみ作り 出川晋 Shin Degawa

展示作品

関西を中心に活躍している20代の
アーティスト3名と、ワークショップの
講師たちの作品も展示します。こちら
もお楽しみください！



▲彫刻 布藤喜帆 Yoshiho Futo

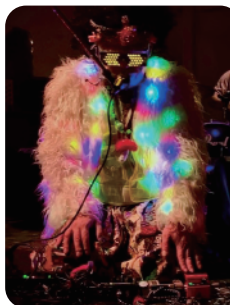
ペインティング 高塚昂
Subaru Takatsuka



▲彫刻・インスタレーション
宮下ゆり Yuri Miyashita



パフォーマンス・アート



倉田めば ▶
Meba Kurata

◀コ松バラバラ
Komatsu
Barabara



松田博幸 ▶
Hiroyuki
Matsuda



パフォーマンス・アートとは、アーティストの身体や
行為が作品となるアートの分野です。あどがわハプン
ではアーティストが会場のどこかでパフォーマンスを
行います。不思議だったり、変だったり、何をやってる
のかわからないかも？ぜひ、形の無いこのアートの目
撃者になってください！

※作品写真は過去作です。当日会場に展示、発表予定のものとは違います。

ADOGAWA HAPUN 2025